

思考を始める

『人生の秘密についての浅談』という記事の中で、リラックスした心構えを持ち、常に考えることを楽しむことが、私が発見した人生の秘密だと述べました。しかし、私自身もこの点を忘れがちなので、自分自身にこのことを思い出させるために、もう一度記事を書く必要があります。

この競争がますます激しくなる世界において、思考の重要性が増していると私は気づきました。金融とテクノロジーの世界では、知識がますます重要になっています。投資ができる人にとって、お金を稼ぐことは簡単なことです。バフェットやダリオにとって、もし今日彼らが一銭も持っておらず、コネクションもないとしても、株式投資を通じて富を築くことができるでしょう。文章を書くことができる人にとって、影響力を得ることは簡単なことです。彼らにとって、社会の欲望を理解し、それらの欲望を満たす方法を知っています。手を動かして探求することを楽しむ人にとって、良いコードを書いて良い仕事を見つけることは簡単なことです。彼らにとって、物事がどのように機能するかに興味を持っています。

これらはすべて知識です。知識は主に独学で身につけます。教師の役割は比較的小さいです。主に、みんなが普通の人だからです。良い教師に出会うのは難しいです。学校では、主に学生自身が頼りです。学生の質が重要です。そして、独学において、本を読むことやビデオを見ることも、その効果は比較的小さいです。独学において最も重要なのは、考えることです。

この1年間、私は大企業で働くことを考え、時々 Boss 直聘で市場の動向を見ていました。Java エンジニア、Java 技術専門家、技術マネージャーなどのポジションを調べ始めました。その中で、私は自分のプログラミングスキルについて気づきました。多くの言語でプロジェクトを行い、多くのプロジェクトを手がけてきたにもかかわらず、私の技術レベルはまだ初級段階に留まっているということです。周りを見回すと、私のレベルはそれほど悪くないように見えますが、ただ私がここ数年でやってきたことが多岐にわたっているだけです。他の人々は一つの方向に集中して何年も学び、経験を積んできましたが、私はその方向で半年から1年しかやっていません。もちろん、その分野では他の人々の方が私より得意です。私は、本当に人々の差を生むのは時間の長さではなく、その方向にどれだけの思考を注いできたかであることに気づきました。

フェインマンは、ノーベル賞を受賞した物理学者で、1986年のチャレンジャー号スペースシャトルの爆発事故の後、外部の専門家として調査に参加しました。彼の調査と思考を通じて、爆発の原因を見つけ出し、事件の調査結果に大きな影響を与えました。彼はスペースシャトルの設計者ではなく、今回の打ち上げ作業にも関与していませんでしたが、彼が最初に原因を突き止めました。これが思考の意義と価値です。

以前、私がプログラミングを学んでいた時、問題に直面するとすぐに Google で答えを探していました。これは、Google 指向のプログラミングとも言えるでしょう。問題に遭遇すると、私はすぐに答えを見つけたくてたまりませんでした。時には、答えを見つけるために英語の記事を読まなければならないこともありましたが、私はそれを最後まで読む忍耐力がなく、もっと簡

潔で要点を押さえた答えを探しに行くことがよくありました。これは、TikTokで有名な「最も美しい客室乗務員」蔣胖胖が言うように、「姉妹、要点を言って」という感じです。私がGoogleで答えを探す時も、長いウェブページに直面すると、心の中で「兄弟、要点を言って」とつぶやいていました。

私はプログラミングを学ぶ際、常にこのように学んできました。問題に遭遇したらGoogleで検索し、一つ一つ問題を解決していくのです。もし私に「プログラミングを学んで何を学んだのか」と尋ねられたら、何を学んだのかを具体的に説明するのは難しいです。しかし、多くの問題に対して、私は解決策を見つけることができます。

私はずっと機械学習を学びたいと思っていました。WeChatの読書アプリで本を読んだり、関連する記事をいくつか読んだりしました。しかし、私はそれを実践せず、考えることもありませんでした。もう一度本を開いて読み直そうとしたとき、私は過去にあまりにも多くの本を読んでいたことに気づきました。重要なのは読むことではなく、考えることだと気づきました。もし私が一日中機械学習について考え、学んだ知識を振り返り、自分の知識と経験を基に機械学習の本質や応用について考えなかったら、本を読んでも意味がありません。本の知識は勝手に私の頭に入るわけではなく、私の頭で考え出したものだけが自分のものになるのです。

私はよく本を読むのも退屈だと感じる場合があります。他人が書いたものや話すことを聞くのは、常に退屈です。なぜなら、私の脳が常に参加しているわけではなく、常に忍耐強く読み聞きしているわけではないからです。しかし、私が心を落ち着けて考えるとき、考えることがもっと楽しいと気づきます。私はゆっくり考えることができ、自分に速く考えさせようとはしません。私たちが本を読むのは、遅すぎるのではなく、速すぎるのです。速すぎて、読み終わった後しばらくすると忘れてしまいます。

思考について、私たちはよくその深さと広さについて語ります。私は自分がよく考え、探求することを好む一方で、思考がそれほど深くも広くもなく、ただ同じことを繰り返し考えているだけだと気づきました。『私の未来の目標』という約6千字の記事を書き終えた後、私はその中に書かれたことを1、2年も繰り返し考えていたことに気づきました。私はそれらについて長い時間をかけて考えましたが、それによって深くも広くもなりません。もし私が多くのことについて考え、それぞれについて数千字の考察を書くことができれば、もっと賢くなれるでしょうし、この激しい競争の世界にもっと落ち着いて向き合えるでしょう。

執筆は、思考を補完する素晴らしい手段です。物事を明確に理解して初めて、私たちはそれを明快に書き表すことができます。執筆は、学んだことを他人に教えるようなものです。私たちは繰り返し書くことで上達し、それと同時に教える技術も向上させます。書いているうちに、物事を説明する過程で新しいアイデアが浮かぶこともあります。これが、私がよく記事の中で「私は気づいた」というフレーズを使う理由です。このように書くのは、書いたばかりの内容を見直し、新たな考えが浮かんだらそれを追加するためです。私は執筆を一種の思考と見なしています。執筆は友人たちとの交流にも役立ちますが、実は自分自身にとって最も有益であることに

気づきました。「欲望が駆動する世界」を書き終えた後、私は世界の見方が変わったことに気づきました。

人々の欲望を洞察し始め、この社会と世界に対する新たな認識を持つようになりました。私は気づきました、時々、私が WeChat で友達に連絡しても、彼らは必ずしも返信してくれないということです。例えば、仕事探しについて言えば、私は元同僚に話しかけても、彼らはすぐには返信してくれないかもしれませんが、もし私が Boss 直聘で彼らを見つけて、彼らにアプローチしたら、もしかしたらもっと早く返信が来るかもしれません。私は気づきました、私が友達に連絡するとき、私が話すことは私自身に関するものが多く、彼らは必ずしも返信してくれないということです。しかし、私が彼らに連絡するとき、彼らに関することが多ければ、彼らは必ず返信してくれます。例えば、彼らが友達の輪で助けを求めたり、誰かを紹介してほしいと頼んだり、何かを尋ねたりしているとき、私はすぐに彼らに個人的にメッセージを送ると、彼らは必ず返信してくれます。なぜなら、それは彼らの欲望を実現することだからです。しかし、もし私が彼らに私のことを頼む場合、彼らは必ずしも返信してくれないかもしれません。なぜなら、それは私の欲望だからです。

他にもたくさんの例があります。私は、WeChat には私を知っている友達がたくさんいますが、誰が私に仕事を提供できるか、誰が私が仕事を見つけるのを手伝ってくれるかということに気づきました。これは私とあまり関係がありません。それは完全に彼ら次第です。友達の会社やチームがちょうど採用しているかどうか、彼らが私を推薦して私がお金を稼ぐ機会を得られるかどうかによって、私を助けやすくなります。この件では、彼らに利益があることが必要です。私のクライアントでもある友達もいて、私にプロジェクトを提供してくれたことがあります。しかし、彼らが私を採用するかどうか、彼らの会社が今採用しているかどうか、私が適しているかどうかにかかっています。ですから、これも『欲望が世界を動かす』で言われているように、感情はますます重要ではなくなり、重要なのは欲望であり、世界を動かすのは欲望なのです。

最近、ある記事「私の失敗と偉大さ-採用面接の技術」を読みました。著者は私の友人でもあります。彼は様々な採用方法を試みたことを書いています。自分の QQ グループを使ったり、一人ひとりに尋ねたりしました。結局、Boss 直聘が役に立つと気づきました。ある人を説得して、彼の既存の軌道を変えて私のスタートアップに参加させることは、これほど難しいことです。ある人を説得して別の会社に転職させることも、容易ではありません。皆が賢く、皆が自分の成長計画を持っています。世界を動かすのは欲望です。私たちが人を採用したいときは、仕事を探している人と話すしかありません。欲望を合わせるために、これしか方法はありません。今この欲望を持っていない人に、その欲望を持たせることは難しいです。人々を変えることはこれほど難しいので、人々に従うしかありません。

同様に、私が良い仕事を見つけるためには、友人関係の中でそれを実現することが重要です。それは、適切なタイミングが必要だということです。例えば、友人が私に外注の仕事を依頼してくれたように、一年を通じて、この友人やあの友人が私に連絡をくれることがあります。私たちは

時間の価値を理解する必要があります。一つの方法として、2、3ヶ月かけて仕事を探し、その間ずっと周りに「仕事を探している」と伝えることで、様々な機会が舞い込んでくるでしょう。これは、資金調達の話と似ています。自分の力を示し、時間を利用して機会を捉えるのです。また、私がどのような仕事を探すかにも関係しています。年収30万の仕事か、50万の仕事か、80万の仕事か。ここで、私は様々な企業の欲望を理解する必要があります。どの企業が私を評価してくれるのか、どの人々が私を評価してくれるのか。ここ数年のソフトウェアプロジェクトのクライアントが、なぜ私を信頼してくれたのかを考える必要があります。

私は、多くのプロジェクトが友人からの紹介で来ていることに気づきました。だから、これらの友人に、現在どの会社が拡大しているのか、どの会社が私のようなバックグラウンドを持つ人材を急いで必要としているのかを聞いてみることもできます。そして、友人が私を推薦してくれるように頼むこともできます。私は自分の友達の輪の中で、どのような求人情報があるかを検索することができます。友達に求人情報を聞いて、彼らの友達の輪でも検索してもらうこともできます。公開情報を調査することもできますし、一部の友人に大企業の動向を聞くこともできます。

これは採用の話に触れてしまい、少し脱線しました。これらは思考の一例です。しかし、学ぶべきことはまだまだたくさんあります。すべてのソフトウェアプロジェクトの起源を、私は理解しているでしょうか。起こるすべてのことがなぜ起こるのか、私は理解しているでしょうか。

私たちは生きているけれども、自分が何を経験しているのか全く知らないことがあります。学生時代、私は自分が何を経験しているのか、世界が何を経験しているのか、そして自分が将来どうなるのかを知りませんでした。

最近、私は自分の未来について考えています。将来、子供ができて、その成長に伴い、子供の送り迎えをし、妻と子供の問題について時々議論するかもしれません。両親が年を取り、病気になるかもしれません。自分自身も病気になるかもしれません。仕事では何年か頑張って、少し貯金ができるかもしれませんが、あるいは現状維持かもしれません。中国の貧富の差がますます広がり、経済がマイナス成長になるかもしれません。社会は高齢化に直面し、周りには多くの高齢者がいるかもしれません。社会全体が低欲望社会になるかもしれません。未来にはどんな変化が起こるのか、そして変わらないものは何なのか。

私の文章は少し曖昧です。これは、私がしっかりと考えていない、理解していないことを意味します。ここでの各ポイントは、本当にそうなのか、そのようなことが起こる可能性はどのくらいあるのか、しっかりと考えてみる価値があります。

思考には思考の広さと深さがあり、知識には知識の広さと深さがあります。同様に、コンピュータの知識について、私は何を考え、何を深く考え、実際に私の頭の中に入っているのはどれくらいで、他の事柄に類推できる知識はどれくらいあるのかを考えました。

物事について考えるようになって初めて、その物事を愛するようになる。私が多くの物事に興味を持たないのは、実はそれらについてあまり考えず、十分な好奇心を持っていないからだ。例

えば料理。私たちが考え始める時、料理の本質は何か、なぜ油で炒めるのか、なぜ時々水を加えるのか、どうやって効率を上げるか、それぞれの野菜をどのくらい炒めたり煮たりするかをどうやって見分けるか。これらの問題を一日かけてしっかりと考えてみると、私たちは料理にとっても興味を持っていることに気づくだろう。油で炒めるのは、油の沸点が水よりも高く、油の温度が高いため、肉や野菜がより早く火が通るからだ。

同様に、機械学習についても多くのことが考えられます。自動運転は詐欺でしょうか？自動運転が可能な理由は何でしょうか？自動運転が不可能な理由は何でしょうか？機械学習とは、微積分のことでしょうか？どの分野に機械学習を適用できるでしょうか？機械学習とは、一体何でしょうか？アルゴリズムが駆動する世界はどのようなものでしょうか？アルゴリズムとは、結局のところ何を意味するのでしょうか？

私たちがこれらの問題について一日中考えた後、本を読み、答えを探すとき、私たちは興味津々になるでしょう。

私の活動や行動は、多くの場合、私がいる場所や環境によって決まります。実家に帰ると、小学校の同級生と遊びに行きます。私が住んでいる団地にバスケットコートが100メートルしか離れていないときは、よくバスケットボールをしに行きます。人の行動は、環境に対する反応器のようなものです。私が何をするかは、私がどのような環境にいるか、周りにどんな物があるか、周りにどんな人がいるか、周りの物理的な世界がどうなっているか、手元のインターネットの世界がどうなっているかによって決まります。私がどこにいるのか、誰が私のそばにいるのか、私が何を考えているのか、私が何をしたいのか。

都市と農村の違いは何でしょうか？都市では、人々は仕事に就き、車やバスで通勤し、住宅ローンや家賃を払い、他人にサービスを提供することで生活しています。一方、農村では、農繁期と農閑期があり、農作業や家事を行い、自分自身で生活を営んでいます。

20年前と今の違いは何か？子供の頃、家はほとんどがらんどで、家具も簡素だった。田舎では、薪を燃やしてご飯を炊き、料理を作り、四角いテレビはあったが電波が入らず、隣の家まで走って武侠ドラマを見に行き、自転車があり、赤いプラスチックの椅子があり、インターネットもなく、携帯電話もなく、近くのコンビニまで電話をしに行き、しゃがみ込み、スプーンで水をかけて流す。お風呂のお湯は石炭で大きなバケツを沸かしていた。鶏や豚を飼っていた。手で洗濯をしていた。夜になると村は真っ暗だった。9時過ぎにはもう寝ていた。

今や、ほぼ20年が経ち、家の中は大きく変わりました。赤木の家具、Xiaomiの65インチテレビ、2台のデスクトップパソコン、3台のノートパソコン、2台のMac、複数のApple、Huawei、Xiaomiのスマートフォン、多数の古いパソコンやスマートフォン、洗濯機、食器洗い機、4台のエアコン、2台の車、冷蔵庫、オーブン、浄水器、ガスとブロードバンドインターネット、コーヒータブル、給湯器、ジュース数台、豆乳メーカーと麵製造機、プリンター、2台のスタンドファン、常に魚や肉が豊富で、果物は誰も食べません。

この20年間、世界は実に大きな変化を遂げてきました。私の家の中のものは、他の人々によって提供されています。私の家の変化は、社会の変化を反映しています。この20年間、社会がどのように変化し、人々が何を生産し、製造してきたかを映し出しています。これは、未来も同じように変化していくことを意味しています。人々は常により便利で快適な生活を追求し続けています。

さまざまな方法でお金を稼ごうと試みた後、私は公平な取引の長期的な価値に気づき、お金を稼ぐためには他人の欲望を満たすことが重要だと理解しました。それは、私が製品やサービスを作り、それに価格を設定し、人々と公平に取引することにあります。必ずしも製品やサービスがすごいものである必要はありません。例えば、住宅街の入り口にある朝食店は、人々のニーズを満たし、公平な取引を行っているので、長く続けることができます。また、Apple社のように、頻繁に宣伝する必要はないことも理解しました。彼らのように年に一度の発表会を開き、私は時々宣伝すれば十分です。重要なのは、質の高い製品やサービスを提供し、ターゲットとなるグループを見つけ、彼らの欲望を満たし、公平な取引を行うことです。一年の大半の時間を、製品やサービスの開発に費やすべきです。

私たちが人生を振り返ると、私たちが身につけた知識のほとんどは、自分で学び、自分で実践し、反省して学んだものであることに気づきます。そして、多くの記事や動画、資料を見て独学するとき、知識は自動的に私たちの頭に入るわけではなく、自分で知識を考え、熟考し、疑問を抱く必要があります。何事にもよく考えましょう。そうすれば、私たちはますます強くなり、ますます複雑な問題を解決し、ますます大きな挑戦に立ち向かうことができるようになります。